

(様式3)

事業所名 グループホームまめだかな

## 目標達成計画

作成日: 令和 5年 1月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 理念に対する理解と共有ができておらず。個々の入居者に対し、理念に基づいたサービスの提供ができていない。	職員一人ひとりが理念を意識し、業務に携わることができ、チーム全体として理念が反映されたケアを提供することができる。また日頃よりケアの内容を振り返り、より良いケアへとつなげていく。	部署会で理念の読み上げ、入居者個々の生活歴や、入所後の経過などを話し合い、個人に対する日々のケア内容の疑問点などを解決していく。理念の掘り下げを行い、解釈の共有を行っていく。	24ヶ月
2	35	○災害対策 地区の第一避難場所に指定されているが地域との協力体制が取れていない。また、災害時の対応を職員全員が把握できていない。	地区や近隣施設との避難訓練の実施。BCPにて定めた避難方法を職員全員が身に着け定期的に訓練の実施、反省点を上げ、それを踏まえた上で次回の訓練につなげることができる体制を作る。	地区や社協内他部署の担当者との打ち合わせと情報の共有を行い、部署会で職員への周知、避難方法の研修をする。また、運営推進会議にて災害時についての意見を頂く。日頃から、災害時に備えての意識作り。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。  
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。